二十三年度 東京都立白鷗高等学校附属中学校

解答用紙 適性検査Ⅱ

〔問題1〕

レストランなどで「こちらになります」などと言われたとき。

具体例を書く問題なので、「など」は不要です。

この例は、「若い世代の人々だけにしか理解できない表現」とは言い難いと思います。また、「誰が誰に話しかける場面なのか」ということをはっきり書きましょう。若い人とお年寄りが話をしていて、若い人が最近生まれた言葉（「イケメン」「やばい」「うける」など）を使う場面を考えるのがよいでしょう。

5点／10点

〔問題2〕

A

人間は集団の中で、

他人と同じになろうとする

こと。

と同時に違うところもあわせもちたい

みんなのあいだではやっているものごとを自分もやりたいと思ってもかんぺきに同じだと、自分がどんどんほかの人のほうにひきこまれていって、自分が自分自身でなくなってしまうような気がするので、やはり自分は、やらないほうがいいという気持ちもあれば、それをやらないと自分だけとりのこされてしまうという気持ちもある。

まったく

細かな表現も直していますが、〔 〕で囲った部分は全て不要です。Bも同様です。なぜ不要なのかについては、Bの後の解説を見てください。

B

人間は集団の中で、他の成員と

何らかの点で異なった特徴を示したいと

考えること。

いう矛盾

自分が、ほかの人から、ごくふつうのつまらない人間だと思われていたりするときは、なんとかして、なんでもいいから、自分にはみんなとは、ちがうこんなところがあるんだということをしめしたいと思うが、やはり、みんなとすべて違うと、みはなされているとかんじてしまったりするので、やはりみんなとは同じ特徴をもちたいと思う気持ち。

AとBのそれぞれで、矛盾した二つの気持ちを書いていますが、この問題で求められているのは、矛盾した二つの気持ちをAとBにふりわけて書くということです。Aでは「人と同じでいたい」気持ちだけを、Bでは「人と違っていたい」気持ちだけを書かなければなりません。〔 〕をつけた部分はすべて省き、問題の指示通り自分の具体的な経験をまじえて書いてください。

15点／60点

〔問題3〕

コトバをつかっている人間は、それぞれ個性があるため、つかっている言葉も違います。そのため人間がつかっている言葉がまったく同じになるということは、ないと思います。個性のない人間などいないので言葉には変異があってとうぜんだと考えます。人間はこれからも個性をもちつづけるとしんじているのでことばの変異はなくならないと思います。

使 当然 信 言葉

使える漢字はできるだけ使いましょう。

マルはマスの中に入れます。

言いたいことがわかりやすく伝わってくる解答です。ただ、ほとんど筆者の主張のくり返しになってしまっています。冒頭に「私は筆者の意見に賛成です」と書いたうえで、なぜ賛成するのかを自分で考えた具体例を挙げて説明しましょう。例えば、個性を主張するためにあなたがわざと他の人と違う言葉を使った体験があれば、書いてみましょう。

19点／30点

氏名 [redacted]

得点 39点／100点

評価

		評価ポイント	評価
読む力		出題者が読み取って欲しい内容をきちんと理解している。	1 2 3 [✓ 4] 5
考える力	内容	● 本文の内容をふまえ、自分の考えがきちんとのべられている。 ● 自分の考えを伝える上で、適切な具体例が示されている。	1 [✓ 2] 3 4 5
	構成	● 自分の伝えたいことが、相手に伝わるように論理的に書かれている。 ● 文章がわかりやすい。	1 2 [✓ 3] 4 5
書く力	表記	● 正しい文法で、文章が書けている。 ● 誤字脱字がない。	1 2 [✓ 3] 4 5

評価の見方	
5	大変良くできている
4	できている
3	普通
2	できていない
1	全くできていない

解答時間（自己記入） 60 分

自己予想点（自己記入） 50／100点

講評

解答が全体的に短かめですが、今回のように200字で解答する場合は、できるだけ解答用紙の最後の行まで書くようにしてください。解答が短かくなってしまう原因は、言いたいことを説明するための具体例が書かれていないことです。あなた、あるいは他の誰かが、いつ、どこで、どんな体験をしたのか、それによってあなたは何を感じ、感じたことがどう解答の主張につながるのか、とにかく具体的に書きましょう。〔問題2〕では、問題の指示を捉え間違えてしまいました。大きな減点になってしまいますので、問題をきちんと読みとることをまずは心がけましょう。本文はよく読めています。以上のことに注意して、より良い解答をめざしてください。

無断複製（コピー等）・無断転載を禁じます